

# オリジナル設計(株)



福岡事務所技術一課主任

佐藤 雄哉さん

工業高等専門学校土木・建築系卒  
入社6年目

上下水道の計画、  
設計など

オリジナル設計は昭和37年に創業した建設コンサルタント。上下水道を基軸に国内外のインフラ関連施設の計画や設計、各自治体の技術提案などを行っている。

佐藤さんは高専で土木・建築を専攻し、「下水道に関する授業を受けてはいましたが、本格的には下水道について学んだのは入社後になります」と話す。

就職説明会で話を聞き、「当社は風通しの良い社風という印象を持ちました」と話し、それは入社後も変わらないという。

「例えば、年に一回、社長が福岡事務所に来て、会社の業績や方針を説明し、さらに直接、意見交換をする場合も設けてもらっています。上下関係なく、率直に話し合える環境にあると思います」と語る。

地域特性に応じて課題解決

平成28年に入社し、最初は岡山事務所、2年前から福岡事務所での勤務となる。

「岡山時代に携わった下水道の固定資産調査および評価の仕事が印象に残っています。上司に下水道事業の仕組みや業務の進め方などきめ細かに教えてもらいました。右往左往の状態で大変な作業を経験したからこそ、それが今の自分の基礎になっていくと思います」

と振り返る。

現在、下水道管渠の設計業務や改築、ストックマネジメントをはじめとする仕事に従事し、水道

## プロとして最適解を提案し 率直に話し合える環境に

関係も一部手掛ける。

「上下水道とも地域によって様々な形態を持っています。その地域特性に適した課題解決を考えたいかねばなりません。それは難しいことである一方、仕事の面白みでもあると思っています」。

「技術力、そして対応力を身に付けることを第一に考えています。日々の業務を進めるうえで感じるのは、現在の仕事の環境、顧客との関係は当然ながら自分一人が楽いてきたものではありません。今後とも顧客との関係を維持し、より良くしていく新規顧客との新たな関係の構築へと広げていきたい」と抱負を語る。

ねて仕事の魅力を語る。  
社会貢献度の高い仕事  
将来の目標を聞くこと

「下水道はあまり意識されない存在ですが、それは普段人々が意識しないくらい生活の一部になっているからだと思います。生活に欠かせない下水道を、自らの仕事で支え、地域の産業や生活に役立っていることは、やりがいにつながっています」と。さらに「顧客のニーズを満たし、かつ上下水道のプロフェッショナルとして最適解を提案する。その結果として顧客に喜んで頂けるのは、やりがいです。成果品の納入時には何とも言えない達成感もあります」

「社会貢献度の高い当社の仕事を知っていたら、社会を支える上下水道事業により関心をもってもらえればと思います」と呼び掛けた。



「風通しの良い社風」と